

I. 建学の精神・北海商科大学3つのポリシー

建学の精神

北海学園（1885年創設）の歴史を背景に、2006年、北海商科大学は誕生しました。

本学は、1977年に北見市に設置された北海学園北見大学を前身に、創設以来の建学の精神である地域に根ざした「開拓者精神の涵養」を継承し、現代社会の急速なグローバル化に対応した教育研究を实践すべく、「アジアの時代にアジアを学ぶ」ことを教育目標（大学の使命・目的）にしています。開学から20年、実践的なコミュニケーション能力の向上を目指した教育研究を通して、学生のみなさんのアジアへの興味と関心が喚起され、近い将来、アジアを目指すスペシャリストへと成長していくことが期待されます。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学の教育課程において、所定の単位を修得し、以下の目標を達成した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

- （1）豊かな人間形成における幅広い教養とコミュニケーション能力を身につけること。
- （2）国際社会における生活慣習や環境の相違に基づく多様な価値観や世界観の存在を理解し、国際的視野に立つ異文化コミュニケーション能力を身につけること。
- （3）修得した知識および技能により、自ら課題を発見し解決する能力を身につけること。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

以下の教育方針に基づく5つの分野から編成されたカリキュラムにおいて、少人数教育を基軸にして、豊かな知識・柔軟な発想・実践力のある技能を身につけ、総合的能力に長ける人材育成を目指します。

- （1）国際ビジネス、国際観光を担う人材の養成

国境を越えて多方面にわたる交流が進展するグローバル化時代においては、世界の人々が相互にそれぞれの文化的な特性・習慣・生活環境における価値観や世界観の相違を認め合いながら共生していく必要があります。本学は、こうした人と人とのグローバルな関係が深化する社会情勢を前にして、国際ビジネス、国際観光の分野において、豊かな知識、柔軟な発想、実践力のある技能を身につけた国際社会と地域社会に貢献するグローバルな活動を担いうる人材養成を行います。

- （2）少人数教育とバイリンガル教育の充実

研究と教育を統合する人材育成システムを目指し、少人数による課題設定教育と研究に裏付けられた自己主張に基づくコミュニケーションを可能にする教育を行います。また、国際社会において活躍する能力を養成するため、外国人講師による講義形態を積極的に取り入れ、実践的なバイリンガル教育を行います。

（３）専門職資格取得を目指す専門キャリアアップ（ＡＰＱ）教育の実践

新しい大学運営システムを取り入れた専門的技能を習得する実践的教育を実現します。語学・情報管理・観光・貿易通商・社会行政のそれぞれの分野において、高度な技能と資格の取得を目指すカリキュラムを実施します。

※【ＡＰＱ】Advanced Professional Qualification

（４）躍進する北東アジア（中国・韓国）地域等協力の実践

北東アジア地域との恒常的な交流を目的にした教育を展開し、躍進する北東アジア地域の発展に貢献するため、約５か月間の語学研修プログラムを含むカリキュラムを提供し、異文化体験を通じた国際的な視野とセンスを身につけさせます。

中国および韓国の協定大学と「相互教育実践プログラム協定」に基づいた留学研修制度を設置して、地域協力の交流を促進します。

（５）産学官連携と国際共同を基軸にする地域密着型教育の実践

北海道の発展方向に沿った大学のあり方を追求し、北海道の産業・経済界との連携を深めるため、関係諸機関および個人による特別講義・ゼミをオプショナル講義として展開します。国際化やグローバル化に適応できる実践的能力を修得した人材の北海道地域での活躍の場を確保します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学では「国際交流」をキーワードに、独自の教育システムとカリキュラムを展開し、国際ビジネスと国際観光の分野でリーダーシップを発揮できる優れた人材の育成を目指しています。

本学の教育方針に基づいて、グローバルな世界において活躍しようという意欲ある学生を求めます。特に、北東アジア地域における言語・文化・社会および国際関係に強い関心を持ち、学習することへの興味と幅広い問題意識を持つ学生の入学を歓迎します。